

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 11 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 24 年 12 月 18 日(水) 14:00～17:00
2. 場 所：土木学会 D 会議室
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，大久保幹事，下村幹事，立神幹事，広瀬幹事，古市幹事，松本幹事，溝江幹事，渡辺幹事
竹原事務局 (欠席者：池田幹事，奥井幹事，斉藤幹事)

4. 配布資料

- 資料 幹11-0 第11回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹11-1 第10回複合構造委員会幹事会議事録 (案)
- 資料 幹11-2 論文集特集号準備状況
- 資料 幹11-3 第4回FRPシンポジウム報告
- 資料 幹11-4 第10回複合・合成構造シンポジウム
- 資料 幹11-5 共通セッション申し込み
- 資料 幹11-6 なし
- 資料 幹11-7 重点研究課題について
- 資料 幹11-8 委員長選挙について
- 資料 幹11-9 英文HPについて
- 資料 幹11-10 出版関係
- 資料 幹11-10-0 小委員会一覧
- 資料 幹11-10-1 H101 示方書小委員会
- 資料 幹11-10-2 H104 震災調査小委員会
- 資料 幹11-10-3 H105 300年プロジェクト小委員会
- 資料 幹11-10-4 H180 FRP水門設計ガイドライン小委員会
- 資料 幹11-10-5 H206 ずれ止め小委員会
- 資料 幹11-10-6 H208 FRP複合構造研究小委員会
- 資料 幹11-10-7 H209 FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会
- 資料 幹11-10-8 H210 複合構造物の防水・排水技術研究小委員会
- 資料 幹11-10-9 H211 FRPと鋼の接合方法に関する研究小委員会
- 資料 幹11-10-10 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
- 資料 幹11-11 予算執行状況
- 資料 幹11-12 次回委員会次第案
- 資料 幹11-13 東日本大震災後の活動状況等に関するアンケート調査
- 資料 幹11-14 100周年記念出版
- 資料 幹11-15 ジョイントセミナー実施テーマの募集(ご案内)

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり，杉浦委員長より挨拶がなされた。

(2) 平成 23・24 年度 第 10 回 複合構造委員会 幹事会議事録(案)の確認 (資料 幹 11-1)

西崎幹事長より、前回(第 10 回)幹事会の議事録(案)が読み上げられ、承認された。

(3) 論文集特集号準備状況(資料 幹 11-2-1, 2)

葛西幹事より、論文集特集号の準備状況について説明があった。特集号投稿の手引き(案)の 3.3 掲載料の記載方法について、掲載料は無料と書くこととする。なお、この件は前回の幹事会で議論し、論文集編集小委員会を立ち上げたことも複合構造委員会で承認を受けているので、1/30 の委員会に報告することでよい。また、12/19 の土木学会論文集 A1 編集小委員会に諮り、編集調整会議にかけてもらう予定である。その他、主な意見は以下の通り。

- ・ 幹 11-2-1 4.3.1 に、査読は投稿の手引きに「準じて」とあるが、論文集通常号の書き方とあわせる。
- ・ 特集号論文掲載が H26 年度になると、H26 年度から論文集の投稿フォーマットが変更になるとのこと。
- ・ 特集号の初号は展望論文を掲載する予定であり、その執筆者について今後議論する必要がある。
- ・ 論文集編集小委員会が各小委員会に報告依頼する内容を幹事会で審議する予定である。
- ・ 幹 11-2-2 8.【土木学会論文集特集号】の文章は再考することになった。

(4) 第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウムについて(資料 幹 11-3-1, 2)

溝江幹事より、シンポジウムの開催報告があった。優秀講演者には年内に表彰状を送付する。

(5) 第 10 回復合・合成構造シンポジウムについて(資料 幹 11-4)

溝江幹事より、次回建築主催の複合シンポについて、参加費値上げの協議状況の説明があった。第 10 回の参加費は第 9 回と同額の据え置きで、登載料・聴講料はとらず参加費のみ徴収するとのこと。(参加費払えば何件でも発表可能) 土木主催の場合は、登載料・聴講料は徴収する予定であり、建築主催の場合と異なることになる。

なお、講演原稿募集案内の原稿は建築側から入手済みであり、土木側の内容を反映して建築側に返答する。3/1 にホームページに掲載する。

(6) 共通セッション申し込みについて(資料 幹 11-5)

西崎幹事長より、H25 全国大会共通セッションテーマ申し込みを行った旨報告があった。

(7) 各賞推薦について(資料 なし)

西崎幹事長より、各賞推薦について説明があった。今年度は功績賞に池田尚治先生が候補としてあげられている。過去に池田先生を複合構造委員会からは推薦していないことを大垣元幹事長に確認した。古市幹事が推薦書(案)の内容を池田先生に確認するとともに、念のため複合構造委員会からの推薦に関する池田先生の意向を確認し、推薦選考小委員会にて審議することになった。

(8) 重点研究課題について(資料 幹 11-7)

西崎幹事長より、重点研究課題について説明があった。研究課題のアイデアをメールで意見交換し、複合構造委員会として応募することになった。「復旧」・「補修」、FRP 応急橋、FRP 水門が案としてだされた。

(9) 委員長選挙について(資料 幹 11-8)

西崎幹事長より、委員長選挙について前回幹事会の内容と同様との説明があった。

(10) 英文 HP について (資料 幹 11-9)

西崎幹事長より、国際センター長の上田先生からの英文 HP の検討依頼について説明があった。

日本語 HP すべてを英訳する必要はなく、委員会概要・目的、委員会構成、小委員会の内容、出版物の紹介にする。出版物はタイトルだけでもよい。英訳作業の分担は下記のとおりとする。

- ・ 既存の各小委員会のタイトルと活動内容は、各小委員会で対応。
- ・ 既に終わった小委員会は、レポートにある英文を参考にする。レポートに英文の記載が無い場合には元小委員長、幹事長に問い合わせる。
- ・ 出版物は関連した小委員会で対応。
- ・ 複合構造委員会の概要は幹事会（委員長と幹事長）で対応。

なお、連絡は各小委員会には各連絡幹事から、既に終わった小委員会には西崎幹事長からとする。

(11) 出版関係 (資料 幹 11-10)

立神幹事より、出版図書販売状況について報告があった。複合構造レポート 01, 05 が原価回収部数に達していないとのことであるが、すべてクリアしたはずであるため、再度出版委員会に確認することになった。また、原価回収部数に達していない場合の対策が必要になるかもあわせて確認することになった。

(12) 小委員会報告審議事項(資料 幹 11-10-0～11-10-10)

H101 複合構造標準示方書小委員会

渡辺幹事より、設計編、維持管理編、施工編の WG で検討し、目次と本文を今年度末までに作成し、H25.3 末の委員会で骨子の調整をするとの報告があった。

H104 東日本大震災被害調査小委員会

渡辺幹事より、12/19 に報告書の原稿がそろうとの報告があった。レポートとして出すので査読が必要なく幹事会で確認すればよい。3 月に幹事会で確認できるスケジュール感でよい。

H105 300 年プロジェクト小委員会

古市幹事より、今後まとめにむけて進めて行く旨報告があった。なお、本小委員会から年次大会に 3 編投稿予定も活動報告に入れた方がよい。また、本小委員会の土木学会 100 周年事業へのアプローチについて上田先生に相談した。100 周年事業として 10 の事業が予算をつけ実施することが決まっているが、それ以外の企画は受け付けているとのこと。3 月の小委員会での進捗を見た後に、100 周年事業の企画にあげるか複合構造委員会に諮る。

H180 FRP 水門技術ガイドライン作成小委員会

西崎幹事長より、今後の計画、日程が説明された。審議期間は 1 年間で受託契約が完了し、先日委託元から入金があった。

小委員会では、ダム堰基準にあわせるものと、土木学会としての最新の基準にするものの 2 つを作成する予定であるが、実務を踏まえた許容応力度法に関する内容を土木学会として責任を持てるか議論する必要がある。作成方針等、査読を前に小委員会から幹事会にあげて議論することになった。活動報告に上記内容を入れる。

H206 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会

渡辺幹事より報告があった。ずれ止めの標準試験を H25 年 3 月に実施予定。EASEC (2013/9/11～13) にて、ずれ止めセッションを企画開催、5 編程度投稿予定である。

H208 FRP 複合構造研究小委員会

西崎幹事長より報告があった。FRP の材料係数等の適切な設定，とりまとめの方法を踏まえて，引き続き実験を行っていく予定である。

H209 FRP によるコンクリート構造の補強設計研究小委員会

立神幹事より，2 期目の活動として研究テーマを設定したとの報告があった。

本小委員会による香港での WS 開催に関して，国際委員会の企画（ジョイントセミナー）に応募したほうがよい。

H210 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会

溝江幹事より報告があった。12/20 に全体委員会を実施予定である。福岡大学の実験が半分程度終わり，4 月にすべて終わる予定である。報告書も平行して作成中である。

H211 FRP と鋼の接合方法に関する研究小委員会

大久保幹事より報告があった。WG1 と 2 がそれぞれ報告書を順次作成中である。なお，報告書は 2 分冊で原稿完成は 6 月頃，講習会は 2013 年 9 月に開催予定である。

講習会は他の小委（H104，H210）と合わせて開催するのがよい。

H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

西崎幹事長より説明があった。第 1 回委員会は 12/6 に開催。連絡幹事は溝江幹事とする。

(8) 予算執行状況（資料 幹 11-11）

各小委員会の H24 年度内の執行予定を確認し，概ね予算どおりの執行予定であった。

(9) 次回委員会次第（案）（資料 幹 11-12）

西崎幹事長より，説明があった。以下を追加する。

- ・ シンポジウム小委員会報告分
- ・ 英語 HP
- ・ 震災の活動報告 調査研究部門 お礼状（メール）
- ・ 国際センター
- ・ 土木学会功績賞

(10) 東日本大震災後の活動状況等に関するアンケート調査（資料 幹 11-13）

西崎幹事長より，調査研究部門各委員会における東日本大震災の活動状況等に関するアンケート調査（H104 で作成した内容）について説明があった。

(11) 100 周年記念出版（資料 幹 11-14）

西崎幹事長より，説明があった。複合構造委員会の委員に意見を聞き，次回委員会に報告することになった。

(12) H25 年ジョイントセミナー実施テーマの募集(ご案内)（資料 幹 11-15）

西崎幹事長より，説明があった。H209 委員会が香港で WS を行うのは H25 年ではなく H26 年になる可能性があるため，立神幹事より佐藤小委員長に報告する。なお，本セミナー実施にあたり，協定締結先が資料にあるように限定されているようなので，相手先と協力体制が作れるか確認する必要がある。

ある.

(13) その他

・H102 FRP ガイドラインに関する報告が, Structural Engineering International 誌 (H24.5) に掲載された. 次回委員会で報告する.

・次回幹事会

H25 年 3 月 8, 9 日 和歌山

以上 (記録・文責: 広瀬)